制作協力番組のご案内（制作：株式会社オプテージ）

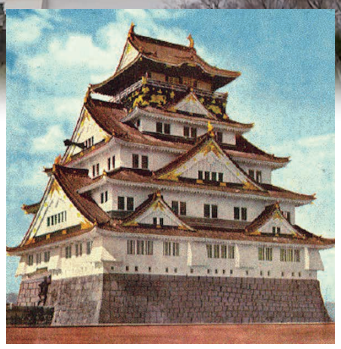
村瀬先生の「ぶらり歴史歩き」 大阪城編

「なにわの地理博士」こと大手予備校・東進ハイスクールの人気講師・村瀬哲史さんの案内で、大阪のまちの歴史や地理をご紹介するYouTube番組です。現在、当協会のホームページで大阪市内の各所を公開中。「大阪城編（前編・後編）」では、大阪城にまつわる歴史を深掘りするとともに、さまざまな伝説や謎にも迫ります。その一部をご紹介します。

村瀬哲史さん

天守閣の屋根は、なぜ緑色？

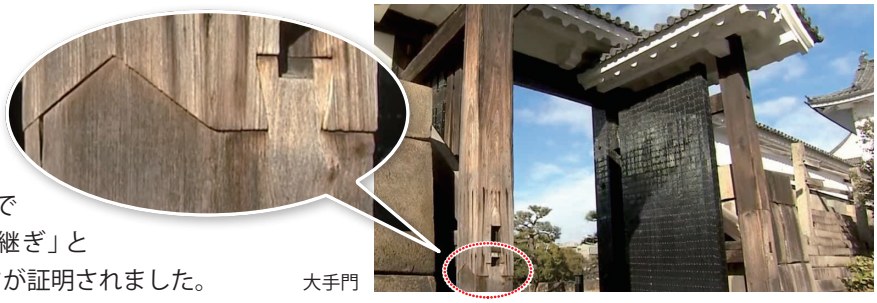
現在の天守閣は、1931（昭和６）年に大阪市民の寄付で再建されたもの。その屋根は銅の板で葺かれており、長い年月を経て緑青（ろくしょう）という緑色のサビに覆われました。再建当時の絵葉書には、緑青が生じる前の屋根が描かれています。ちなみに緑青が生じることで銅がコーティングされ、長持ちするそうです。



再建当時（1931年）の大阪城天守閣（大阪市立図書館デジタルアーカイブ「城内貯水池より天守閣を望む」より）

大手門にある長年の謎とは？

「大手（おおて）」は、城の正面や正門という意味。現在の大手門は1628（寛永５）年に徳川幕府により創建され、戦時中の空襲からも奇跡的に免れました。その大手門を支える柱をどうやって継いだのかは、1980年代にX線で解明されるまで長らく謎のまま。「婆娑羅（ばさら）継ぎ」と呼ばれ、釘やボルトのない時代の技術の高さが証明されました。

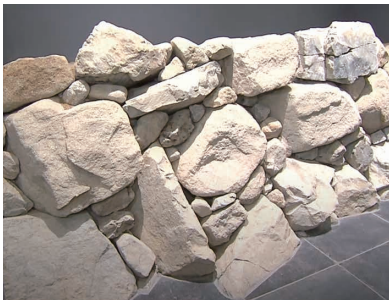


大手門

豊臣時代の石垣を間近で見学

大阪城を眼前に望む追手門学院小学校に、豊臣時代に築かれた石垣（野面（のづら）積み）の遺構が位置も形も創建時のまま残されています。当時、ここには豊臣秀頼の妻・千姫の執事の屋敷があり、ここで、徳川家康から秀頼へ婚礼祝いに贈られた象を飼っていたのではないかともいわれています。小学校沿いの道路から見学することができます。

追手門学院小学校は西日本最古の私立小学校



豊臣時代の石垣（おうてもん石垣ギャラリー）

なぜ大阪城公園駅を高架にしなかった？

JR大阪環状線の大半は高架ですが、森ノ宮駅から大阪城公園駅の区間だけは地上を走っています。戦時中、この辺りには陸軍砲兵工廠（こうしょう）と呼ばれる兵器工場が多くあり、高架にすると上から覗かれて軍事機密が漏れてしまうという理由で軍部が反対したからです。この区間だけ電車が地上を走っているのは、戦争時代の名残だったのです。

大阪城公園駅（JR大阪環状線）

地上を走る電車（大阪城公園駅近く）

番組でチェック！

- 金明水井戸の調査で発見された意外なモノ　（前編）
- 石垣に「人面石」を組み込んだ意味とは？　（後編）
- 天守閣を背景にして結婚式が挙げられる！　（後編）
- 大阪城に今も残る戦争の爪痕　（後編）

右記のQRコードを読み込むか、当協会ホームページにアクセスしてご覧ください。
https://www.osaka21.or.jp/

前編　後編

村瀬哲史（むらせ あきふみ）▶東進ハイスクール東進衛星予備校 地理講師
「楽しく学ぶ地理」をモットーとした授業で学生に大好評。
一度観ると忘れられない！そんなキャラクターでテレビ・ラジオでも活躍中！